

2015年の経済学博士号保有者を対象とした求人数、前年から8.5%増（12月29日）

米国経済学会（American Economic Association：AEA）は、2016年1月3日～5日にカリフォルニア州サンフランシスコで開催される年次総会に先立ち、AEAの経済学者求人情報サイト（Job Openings for Economists：JOE）に掲載された求人情報に関する年次報告を発表した。これによると、2015年にJOEに掲載された経済学博士を対象とした求人数は、前年比8.5%増の3,309件であったという。このうち学術界での求人数は2,458件、学術界以外での求人数は846件で、いずれも前年の2,290件と762件から増加した。また、これらの求人数は、新たな経済学博士号取得者数を遥かに上回るとのことである。一方、求人数が最も多かった専門分野は、過去数年と同じく数学的・計量的手法で、金融経済学、ミクロ経済学、マクロ経済学、国際経済学がこれに続いた。なお、JOEには経済学関連の求人情報全てが掲載されている訳ではないものの、求人市場状況の傾向を知る上では信頼性が高い指標と考えられている。

Inside Higher ED, More Jobs for Econ Ph.D.s

<https://www.insidehighered.com/news/2015/12/29/report-finds-increase-job-openings-economics-phds>